東鍼会報

2014. 1 NO. 262 TŌSHIN KAIHŌ

発行
公益社団法人
東京都鍼灸師会
☎ 03-3985-7501
FAX.03-3985-7526
www.harikyu-tokyo.or.jp

事　業　日　程　表 〈N は日鍼会の略〉

1月

8	水	（レセプト締切）　筋力アップ教室⑧ イキイキ教室⑦　理事会
11	土	新年会：ホテルベルクラシック東京 （大塚駅南口）
12	日	都委託講習会（後期）
13	月	新宿ハーフマラソン・東京マラソン 関連研修会〔関ブロ正副会議〕
15	水	筋力アップ教室⑨ 新入会員説明会
18	土	保険予備審査
19	日	保険審査会
22	水	筋力アップ教室⑩ イキイキ教室⑧
23	木	症例検討会
26	日	新宿ハーフマラソン 〔N理事会〕
29	水	筋力アップ教室〔講義〕 おおつかサロン

2月

5	水	（レセプト締切）　筋力アップ教室⑪ イキイキ教室⑨　新入会員説明会
7	金	保険取扱疾患講習会
9	日	在宅鍼灸医療推進の会
12	水	筋力アップ教室⑫ イキイキ教室⑩　　理事会
13	木	東京マラソン事前研修会：結団式
15	土	保険予備審査
16	日	保険審査会
23	日	東京マラソン
26	水	おおつかサロン
27	木	症例検討会

3月

5	水	フォローアップ① イキイキ教室⑪　新入会員説明会
6	木	（レセプト締切） 保険取扱疾患講習会
9	日	都民公開講座
12	水	筋力アップ教室同窓会 イキイキ教室⑫　　理事会
15	土	保険予備審査（4F）
16	日	保険審査会（4F） 〔N理事会〕
23	日	日鍼会共催学術講習会
26	水	フォローアップ②　おおつかサロン 後期支部長会
27	木	症例検討会

支部活動の掲載について－－「支部活動の日時」本部が把握している範囲で掲載しています。早めのご連絡をお願いいたします。
事業日程表への掲載は、事務局までご連絡ください。（開始時間についてはご確認ください。）

鍼灸師の団結

公益社団法人　東京都鍼灸師会
会　長　　髙田　常雄

あけましておめでとうございます。

公益社団法人東京都鍼灸師会となり新たにスタートして今年3月で一年になります。

新しい組織を編成し、役員も事務局も戸惑いながらも前進することできたのも、各支部長先生ならびに会員の先生方のご理解とご協力のお陰で新年を迎えることができましたこと、心より御礼申し上げます。

昨年は、「スポーツ祭東京2013」第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会の役員として、東京都鍼灸師会も全面的に協力・支援し、国民体育大会・全国障害者スポーツへのボランティア活動を会員の方々と力を合わせ進めてきました。

本年も、多くの会員の方々が東鍼会ならびに鍼灸業界に希望されることを充分把握し東鍼会で出来ること、東鍼会がなすべきこと、各事業に反映して行きたいと思います。

昨年に続き、日本在宅医学会に積極的に参加し、在宅医および多職種の方々との交流を行いながら、地域包括ケアシステムの一員になるよう、より在宅医療に積極的に取り組んでまいります。また、JIMTEF災害医療センターの先生方と連携し、鍼灸師が災害医療に何ができるか、何をすべきかを学んでいかなくてはなりません。

新入会員の方々も鍼灸院経営に悩まれておることと思います。本年は、鍼灸院経営の新たな展開を企画し、会員数の増員を目標に進めて行きます。

まずは、鍼灸専門学校の先生方と交流し、学生さん方との交流を深め、鍼灸の素晴らしさ・楽しさを伝え、東鍼会会員の名だたる先生方をご紹介し、鍼灸業界をより発展させて行かなくてはなりません。

力強く前進して行くために、充実した内容のある事業を行っていきます。

本年も、どうぞご支援ご協力ほど宜しくお願い申し上げます。最後になりましたが、会員およびご家族皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。

「新年のご挨拶」

研修事業部：副会長　伊集院 克

新年あけましておめでとうございます。

副会長の伊集院克と申します。昨年から公益社団法人と名称が変わり、それに伴い部署や役職が変わったため、当初は執行部自らもオタオタと振り回されて、会員の皆様には大変なご迷惑をお掛けしました。『生みの苦しみ』と考えて何卒お許しください。

私は三月に58才になります。アラカンになって昨年を振り返ってみますと、時間が経つのが加速度的に早くなったことを実感します。若い頃のようにあれもこれも欲しい、やりたいと考えても、あっという間に時間が過ぎるので達成感を得られるものがずいぶん減りました。

私の東鍼会での職は『学術研修』です。

毎年たくさんの鍼灸師が輩出され、同じ土俵の上で患者さんから支持されるべくそれぞれ競い合い頑張って、他の鍼灸師と差別化を図ることが不可欠になっております。

鍼灸師としての基盤・根本とは『学』と『術』の習熟ではないでしょうか。

そこで今年の目標として、患者さんから信頼される、腕の良い鍼灸師になるための講習会や研修会を、ただ単にタメになるだけでなく、友人も誘って受講してみたいと意欲が湧くような魅力のあるものにして行くことを掲げます。

アラカンで多くのことを同時に処理できなくなりましたので、髙田会長の方針に沿って、岩元副会長と他の理事や支部長先生方と力を合わせながら、できることから一つずつ着実に果たしていこうと思います。

会員の皆様の支部活動、本部活動への積極的な参加とご協力をお願いし、年頭のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞ宜しくお願いします。

「新年のご挨拶」

法人管理部：副会長　岩元 健朗

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年の４月、本会は公益社団法人の認可を得るために非常に厳しい条件を整え、公益性のある組織であることが行政庁より認められました。公益性があるというお墨付きを得たことで社会的な信頼度を高めることができました。また、公益性が認められたことにより税制の優遇処置を受けることができるようになりました。　昨年１年間は公益社団法人の基盤となる内規の整備や各事業の予算再編を行いました。今年も法人管理部担当としてその任にあたって参ります。

鍼灸は素晴らしい医療です。この素晴らしい医療をもっと多くの都民・国民に利用していただけるシステムを構築したいと願っております。一人の鍼灸師では難しいことでも東京都鍼灸師会ならできることが有るはずです。行政と関わり鍼灸師が働きやすい環境を整えることもその一つです。鍼灸の有用性を広く社会に発信していくことも大切です。会員が互いに情報を共有し鍼灸医療の水準を高めていくことも必要です。その目的は、はり師きゅう師の職業を通じて地域住民の健康に寄与し、地域に根差した鍼灸院の繁栄です。都民・国民の目線から鍼灸院に求めるものは何なのか。安心してかかれる鍼灸院はどこにあるのか。利用者の求めに謙虚に耳を傾けて、情報を発信していかなければなりません。日々の臨床から感じることは、常に学び続けることの必要性です。患者様を取り巻く社会環境や現代医療の疾病にたいする診療方法は変化しております。患者様から信頼を得るためにも学術講習会や研修会を通じて学び続けることが重要であると考えております。

本年も会員の皆様と共に鍼灸医療を通じて活力ある社会を目指し活動を行って参ります。これからも皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様とご家族のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

「新年のご挨拶」
会員事業部：組織部長　佐藤 直史

公益社団法人の認可後、様々な移行の中、我々は困惑しつつも前向きに事業に取り組んでおります。
昨年の理事会にて若葉会員を承認していただき、今年は学生会員・若葉会員へ、鍼灸師としての心構え、開業に至るまでの知識をお伝えする活動に力を入れる所存です。
より一層のご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

「新年のご挨拶」
公衆衛生事業部：広報部長　天野 寛敏

正副会長・理事・支部長の先生方。昨年は、広報への記事をお寄せいただきまして誠にありがとうございました。心から感謝を申し上げます。
会員向け情報の「東鍼会報」と一般向け冊子「一鍼たすけ」が分離され、発刊１周年を迎えました。いま、日鍼会も一般向け冊子の発刊を具体的に検討しています。これは公益性であり「鍼灸の普及・啓発活動」の一環で「鍼灸のファン」を増やすツール。待合室に置けるものです。
この４月から「区民･市民まつり」「健康フェスティバル」が年度を新たにして始まります。次年度の特集号は「普及啓発活動」です。どうぞ、記事・写真をお寄せ下さるようご協力をお願い申し上げます。最後に「一鍼たすけ」は印刷前に理事・支部長メールで配信し、注文を受付けています。どうぞ、ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

「新年のご挨拶」
保健福祉事業部：保険部長　関口 知次

明けましておめでとうございます。
昨年は公益法人となり新たに船出をしました。
保健・福祉事業部も一般鍼灸師（会員外）の受入れをし保険取扱いの手續を行っております。今年度も会員を増やすべく努力してまいります
皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

「新年のご挨拶」
研修事業部：厚生担当　芝田 武司

明けましてお芽出とうございます。
私たちの組織も、公益社団法人に認可されました。本年は、組織を公益法人にふさわしい軌道に乗せていく年になります。髙田会長より打ち出されました、運営の基本方針に応えられるよう務めてまいりたいと思っております。
そのため、会務運営のあり方の見直し、財務状況を好転化させていく布石、会員の増加を図るための方策の立案・実行です。そして、運営の基本方針という「海図」に基つき「舵」を切って進む平成26年度の訪れです。この成否は、ひとえに全都の会員の皆様の、ご協力、ご支援等にも大きく懸ってまいります。「大塚丸」は、新たな船旅を始めます。微笑みと、活気と、前向きを道連れにして進みまたいと決意しております。
本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

「新年のご挨拶」
介護予防委員会・在宅鍼灸医療推進の会
普及部長　松浦 正人

新年あけましておめでとうございます。
日頃より皆様には介護予防委員会、在宅鍼灸医療推進の会、普及部の活動にご協力賜り厚く御礼申し上げます。
社会（特に高齢化社会）に必要とされる鍼灸医療、QOL向上、健康余命延長に貢献するために皆様と一緒に頑張っていきたいと考えています。本年もよろしくお願い申し上げます。

「新年のご挨拶」
法人管理部：公益法制担当　樋口 陽一

あけましておめでとうございます。
公益社団法人になり、新しく組織も再編されて、公益法制担当を拝命しております。

ここ数年は公益社団法人を目指して内規を変え、内規にあわせようと組織の再編や事業の改変に取り組んできました。公益社団法人認定後は、内規については現在の組織にしっかり合わせるための手直しが少しだけ必要になっています。事業については

益々会員諸氏のご協力とご理解が必要になっています。公益性の事業を通して都民の鍼灸に対する認知度や信頼を上げることで、結果的には鍼灸界の発展、鍼灸師の利益になるような組織になればと考えております。

本年も宜しくお願いします。

「新年のご挨拶」

スポーツボランティア担当　藤井 伸康

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては恙無く新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

東京都鍼灸師会は新たに公益社団法人として動き出しました。高田会長の下、各部が本法人の公益性を重視し機能できますよう最大限の努力をしてまいります。

昨年、９月末から国体・障害者スポーツボランティアで競技者のコンディショニングに鍼灸が参入することが出来ました。主催者はスポーツ大会の現場で薬によるドーピングリスクがなく運動能力のみならず心的なケアも網羅し競技能力をフルに活かすお手伝いを鍼灸施術が担えることをご理解いただきました。

大会に際し、事前の研修会を行ない本会員、非会員の一般鍼灸師、学生を含め大勢の賛同者が参加していただきました。

今春早々に東京都鍼灸師会は新宿支部が布石をうっていただいた１月26日の新宿ハーフマラソンのバックアップと２月23日の東京マラソンに鍼灸コンディショニングブース参加が決定しました。更に東京オリンピックへ鍼灸を公式に導入していけますようにこのような身近な業績をひとつひとつ達成してまいります。

忙しい現代では普段から摂生し、病をじっくり養生することができません。性急に対症療法を選び慢性化になったまま暮らしています。改めて昔からの日本の暮らしの良さや伝統を見直し、次の世代や、100年先、千年先の命まで、我々が育ってきた自然環境や歴史や文化をきちんと受け継いでいくためにも「受け継いで来たもの」を見直すことが今求められているように思えてなりません。

皆様におかれまして、この新しい年がより佳き年でありますよう心から祈念いたしまして、私からの新年のご挨拶とさせていただきます。

「新年のご挨拶」

北支部長　小野 済

あけましてお目出とうございます。北支部では今年花粉症治療キャンペーンをやる予定でいます。身近な病気が鍼灸で効果があることを、多くの方に知ってもらう為に、これからもいろいろなキャンペーンをやっていくつもりです。

「新年のご挨拶」

新宿副支部長　申 英秀

新年のお慶びを申し上げます。厳しい年が続いておりますが、諸先生方におかれましては、益々のご発展・ご健勝であられますことをお祈り申し上げます。また本年も支部活動・公益活動の充実のため、ご協力をお願い申し上げます。

「新年のご挨拶」

杉並支部　佐藤 晴美

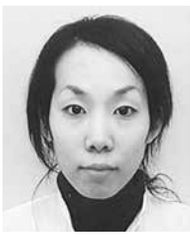
謹賀新年。私も50歳を過ぎて、治療や体力の限界や人生の有限を実感する今日この頃です。我が師故木下晴都先生は、ご高齢になられても、日々臨床に研究に執筆に、鍼灸師会の活動に奮闘されていたことに、最近益々敬意を称します。

新入会員のご紹介

会員事業部（平成25年11月13日現在）

【新入会員の紹介】

氏　名	住　　所	電話番号	ランク	支　部
阿部野早苗	〒195-0072　町田市金井8-25-18-5 クオリーナ205	090-1448-9758	A	町　田



阿部野早苗（町田）

【住所その他の変更】

氏　名	変　更　内　容	電話番号	支　部
赤松　正久	（施術所）〒166-0003 杉並区高円寺南1-10-1　エルリバー1F	―	杉並
小林　詔司	（施術所）〒201-0003 狛江市和泉本町3-7-2	03-6796-2375	世田谷→三多摩南
邉田　幸藏	（施術所）〒184-0014 小金井市貫井南町1-14-20	042-382-0553	三多摩北
矢嶋千佳子	（施術所）〒192-0364 八王子市南大沢4-21-18 南大沢ホームタウン	042-682-5634	八王子・日野
弓田加津枝	（施術所）〒120-0034 足立区千住2-50-1 グランフラッツ千住1305号	―	足立

【退会者のお知らせ】

氏　名	ランク	支　部
八巻　英智	A	品川
能見　真輔	A	中野

氏　名	ランク	支　部
小町　若菜	B	渋　谷
神部　敏雄	B	三多摩南

【学生会員入会者（青年部）】

上妻扶久子	齋藤眞理子	田中　直美	大場友美子	倉田　智康
高崎安希子	清水　俊則			

● 理事会議事録は次回の掲載となります。

第46回　東京都福祉保健局委託学術研修会（中期）

平成25年11月10日（日）13：00～
日本鍼灸師会館

第一座は、「在宅医療の効用と課題」と題して、三育会理事長：英 裕雄先生にご講演を頂きました。在宅医療により、介護されている方や介護している方にとっても、その方の意向や生きる尊厳を大切にした医療の実現が可能である。しかし、病気･介護･認知症・経済性・住まい・エンディング等高齢者を取り巻く様々な問題があり、包括的な支援体制が必要である。

都市部における高齢者の急増問題・独居や老人同士の世帯の増加・高齢による衰弱、骨折転倒、痴呆、リュウマチ等の関連疾患、パーキンソン病等加齢自体による疾病や疾患等々の課題もある。医療従事者にとって患者さんの在宅での医療をどのように取り組むべきか暗中模索が続いている現状である。

在宅医療の中で、鍼灸師の活躍場面は多々あるが、現在、

1．在宅医療にかかわっている医療従事者は、鍼灸に対して認識不足の状態である。
2．保険制度の問題
3．医師・ 看護師・ケースワーカー・担当行政機関との定期的会合への参加で、関係作りとピーアールの必要性がある等のお話を頂いた。

症例を基に具体的で明快な 説明で、多くの示唆を頂くことができました。

第二座は「在宅医療への鍼灸師のかかわり」と題して、和歌山県鍼灸師会会長：萩野利赴先生から、20余年の実践を通して実績を構築するまでの活動の軌跡をご提示頂きました。

日々努めてきたことは、鍼灸師以外の医療従事者との情報の共有化である。そのためには、東洋医学・西洋医学双方で理解しあえる表記の工夫や日常的に医師をはじめ関係職員との 連絡や報告を密にし手間をかけて信頼を得ていくことが不可欠である。また、限られた時間の中でいかに治療を進めるか。治療を受ける方の家族状況、室内状況、往療宅への距離等についての事前準備の必要と事後の書類整備。鍼灸の施術のみでなく、全人的なケアも含む在宅医療が必要不可欠である。等々、長年にわたり泥汗にまみれ理想を求めてきた情熱が、私たち受講者に熱く伝わってまいりました。

研修担当　芝田 武司

第１回「コロコロはり教室」開催

平成25年11月18日（月）10：30～11：30
練馬区旭町南地区会館：和室

参加者は６か月～１歳児８名、１歳６か月２名、３歳・４歳各１名の11組の親子さんでした。近くの子育てひろばでチラシを配布し参加者を集めました。

この教室は、若い世代に鍼灸の効果と良さを実感していただき、鍼灸院へ足を運んでいただけることを目的としています。親子参加のため60分という限られた時間内で「経絡の流れ」を体感していただき、ツボへの指圧で体が軽くなること、鍼の刺激でより効果があがることを体感していただく内容としました。

具体的には

①小児鍼で曲池から合谷へ刺激をしながら呼吸してもらいます。経絡の流れに沿うと呼吸はしやすくなり、逆らうと呼吸がしにくいことを感じてもらいました。
②次にスプーンを用いてご家庭でもお子様に出来る方法を伝えました。
③その後、起立し足踏みをしていただいた後で、委中へ指圧し、再度足踏みすると足が軽くなることを感じていただきました。
ツボの効果を実感していただいた後、簡易な鍼でも効果があることを実感していただくため、肩を回した後で、肩井にパイオネックスを貼りました。再び肩を回した時には、とても楽に軽くなっていることを体感していただいた上で、本物の鍼の効

果はもっとあると伝え、ぜひ鍼灸院にも気軽に足をお運びくださいとアピールしました。

実際にこの直後、有料での施術の設定があったのですが、初めて鍼灸を受けた方が2名いらっしゃいました。

この内容は、“実感していただく”ことが大事であり「わからない」方がいらっしゃらないように、鍼灸師がしっかりツボへ刺激することが大切なため、大人数を対象には出来ず最大16名程度の教室が適当だと思います。効果を実感していただきやすい、主に30代の女性が対象です。会員の皆様に要望があれば、講習会でお伝えしたいと思います。

参加者のアンケートをとりました。

鍼灸院の印象を教えてください（受講前）

1．痛そう　5名
2．怖そう　4名
3．治療費が高そう　6名
4．高齢者向け　5名
5．症状が重い人向け　4名
6．気持ちよさそう　0名
7．治療効果が高い　2名
8．清潔　0名
9．気軽に行ける　1名
10．その他　1名
（先生によって効果が違いそう）

教室に参加して印象が変わりましたか？

1．はい　9名
2．いいえ　1名（鍼灸通院経験あるため）

どのようにかわりましたか？

1．痛くて怖く縁の遠い存在だったが、スプーンを使い手軽に実践出来ることが分かり、ぐっと身近に感じることが出来た。
2．痛みがなくて無理がないもの
3．赤ちゃんの方が効果的ということが分かったので何か症状があるときだけではなく普段から行っても良いのだと思いました
4．痛いイメージはなくなり、今までより身近に感じられるようになった
5．気軽に試せて効果も実感できる
6．わりと、負のイメージが強かったけれど(病院関係全般に負のイメージだと思うけど、鍼はプラス少し古い？怖い？)真逆だった。
7．鍼は、重症な人が施術するもので、鍼を刺す印象がつよく、縁遠いと思っていたのですが、自分でも手軽に出来て身近に感じた

生活に生かせる内容がありましたか？

全員から「はい」と回答いただきました。

それは何ですか？と自由記入で尋ねたところ、それぞれで、ご覧いただくと教室の内容が推測できると思います。

1．足首を温める。特に冷え性なのでこれからの時期に。
2．スプーンを使った経絡のマッサージ。
3．子どもの夜泣きと、自分と夫の肩こり
4．スプーンマッサージ、オムツを早く外してあげること。
5．マッサージの正しい方向　ドライヤーで温める方法。
6．子供の背中や手足の効果的なさすり方。
7．便秘や鼻水にきくつぼなどスキンシップも兼ねて家でやりたい。
8．子供にしてあげたり、自分にしたり？ちょっとの時間で自己メンテが出来るので子育てママにはすごく嬉しいです。（かたコリや腰痛対策のやつ）
9．膝裏、背中などのマッサージ方法。

教室全体の感想です

先生の明るい人柄で、教室自体楽しんで受けられました。疲れた時ではなく、日常的にマッサージするように取り入れたいと思います。

とても興味が持て楽しかったです。また是非参加したいと思いました。

ずっと小児はりに興味がありましたが、どこの鍼灸院に行けば良いかもわからず、値段も恐ろしかったので受ける機会がありませんでした。今日無料で受けられたのは構えることなく参加できたので良かったです。

子どもの夜泣きにかなり悩んでいるので、スプーンのマッサージで効果が出ることを祈ります。

肩こりと腰痛のことも教えてもらい、実践できそうなので有り難かったです。また次回あったら参加したいです。

針のイメージが治療から健康な体に戻す方法なのだと気づきました。もっとお話聞かせていただきたかったです。親子で参加できるのは本当に魅力的です。

リラックスできる雰囲気の中で鍼灸の事が少しでも学べて嬉しかったです。

肩に貼って頂いたパッチ鍼がすごく効いて、肩が楽になりました！ 本当はもっと指導して欲しいけど、子供の機嫌がそれ以上はもちそうになかったので、ちょうど良い時間でした。

おうちに帰ってすぐ使える内容ばかりでとても興味深く楽しい時間を過ごせました。

今まで鍼はなかなか受ける機会もなかったのでいいきっかけになりました。

以前はスプーンの力加減が難しく苦手な感じ（親子スキンタッチ教室の方法）でしたが、スプーンの違った持ち方を教えていただけたので、今回の方が簡単でやりやすかったです。またコロコロ鍼を初めて体験しましたが、転がせやすくスプーンよりも気持ち的に『鍼をやってる感』がありました。ですので、コロコロ鍼を購入させてもらってもいいと思いました！ありがとうございました。

鍼とか全く興味をもった事がなくて、前回鼻水が酷く薬ばかりが嫌で内容はあまり知らなかったけれど鼻水をとめられる方法が知りたくて先生の講座に参加しました。そこで、今回の講座を知り…。本当に、びっくりしました。東洋医学？って凄いなぁ。素直に感動しました。きっと、私みたいに鍼について全然知らない人が沢山いると思うので是非色々な人にもっと知って欲しいです。身体もすっきりしたけど、気持ちも凄くすっきりしました。本当にありがとうございました。

鍼灸院は気軽に行けない場所だと思っていました。鍼は、症状が重くなってから、やるものだと思っていましたが、風邪や痛みの"予防"が出来ることを知りました。

次回は、２月18日（火）目黒区上目黒住区センターでの開催を予定しています。

また、品川・世田谷で行なう企画もあります。参加をご希望の方は目黒支部：林真紀子までご連絡ください。

お知らせ

① 日鍼会「全国大会」
② 介護予防委員会『筋力アップ教室』

都合により3月号への掲載とさせていただきます。

広報部

支部だより

三多摩北支部

学術講習会

平成25年９月28日（土）19：00～
小金井市民交流センター

中央医療学園専門学校講師の塩入照久先生をお招きしてお話を伺いました。

水痘後、神経節に潜伏し、加齢や免疫低下により発症する帯状疱疹は、数日前から前駆痛のある場合が多い。

Ramsay-Hunt症候群は、耳介の帯状疱疹の前に末梢性の顔面神経麻痺が先行する場合もある。帯状疱疹の疼痛は、急性期の皮膚および神経の炎症による痛み（侵害受容性疼痛）と、帯状疱疹後神経痛（PHN）でみられる神経変性による痛み（神経障害性疼痛）と連続したものとして捉えられている。

PHN治療薬の作用機序には、シナプス前に作用し、脊髄レベルでのサブスタンスPやCGRPなどの放出を抑制する等、鍼灸理論でも聞く項目も出てくる。

最近の疫学調査では、帯状疱疹患者からの周囲への感染率は水痘患者と変わらないとされる。水痘患者と同様に、ウイルス血症で運ばれた水痘帯状疱疹ウイルスが唾液や上気道分泌液に排出され、周囲に感染していると考えられている。

三多摩北支部長　邉田 幸藏

大田支部

大田区鍼灸師会「50周年記念式典」

平成25年10月20日（日）大田区池上会館
大田区鍼灸師会50周年記念式典を開催

併せて、東洋鍼灸専門学校で講師もなさっている山本徳子先生により「日本鍼灸のはじまり」と題して創立50周年記念講演が、溝谷先生の司会により行われ、来賓9名・会員27名・合計36名が参席されました。

一部の式典では、今年度より就任した菊地会長より「鍼灸業界のこれからを考えられる志の高いプロ集団となり、大田区鍼灸師会を魅力あるブランドに作り上げていきたい。」との挨拶があり、引き続き、東鍼会：高田常雄会長・日鍼会：相馬悦孝前会長・神林都議・衛生学園東洋医療総合学科：光畑学科長より祝辞を賜りました。

「大田区鍼灸師会50年のあゆみ」が読み上げられ本会に多大なる貢献をなさった、山下先生、塩澤先生、山根先生の３名の表彰も行われました。

二部の祝賀会では、塩澤先生に乾杯の音頭を頂き、和やかに行われ、美味しい料理と美酒に酔いしれました。

50周年を一つの区切りとして、会員同士の交流が深まる、とても良い機会になりました。

支部会員　馬場 洋介

新宿支部

新宿区民祭り「2013ふれあいフェスタ」

平成25年10月20日（日）都立戸山公園
107名の区民の方に施術しました。

参加17年目。寒い雨が一日降りしきる天候は初めての経験でした。苗木や野菜を受け取ってひたすら家路に就く来場者が多い中、新宿支部の施術テントは待合の列が途切れませんでした。昼食後気温がさらに低下してテントの中でも吐く息が白くなるほどです。指先の感覚が無くなる状況で午後２時中止を決め撤収致しました。施術体験の方々もスタッフの方々も皆さまご苦労様でした。（参加者：26名）
協賛企業：釜屋もぐさ・セイリン・セネファ・ファロス・ヤンイー貿易（五十音順）

「もう一度解剖学⑨」
秋解　河野 俊彦先生

平成25年10月23日（水）日本鍼灸会館にて解剖学座学を催しました。年間テーマ「腎臓」の後半の講義になります。参加者は42名でした。

千葉大医学部解剖実習見学
指導教官：河野 俊彦先生

平成25年11月29日（金）15：00～
千葉医大地階の解剖実習室にて催しました。開催５回目初参加者が約半数、総員38名の参加でした。

新宿支部長　井坂 卓司

江戸川支部

被災時鍼灸研修会

平成25年10月20日（日）「被災時鍼灸研修会」にちなみ本所防災館にて模擬災害の体験会が行われました。館内では東日本大震災を教訓にした防災シアターを鑑賞したり、震度７の揺れを実際に体感しました。そのほか消火器を使った消火体験や、都市型水害、防水着を着用しての暴風雨の体験も行いました。会員以外に一般の方の参加もあり、模擬災害の体験を通して防災の意識を高める有意義な体験会でした。

生涯研修委員　西沢 淑公

三多摩東支部

「第13回西東京市民まつり」

平成25年11月９日（土）西東京市：いこいの森公園にて「第13回西東京市民まつり」に参加しました。

当支部の参加は、西東京市役所健康推進課からの依頼によるもので「ブース・のぼり旗・机・椅子等の備品」はすべて無料で借りられます。会場の設置場所は、一般の場所では無く「健康づくりコーナー」と言われる所に、いくつかの健康に関わる団体と、市の健康推進課・高齢福祉課・環境保全課が一緒にコーナーを作っています。

今年は、少々寒く小雨も落ちてきていましたが、数万人の人出が有り用意していた500あまりのパンフレットと業者様からの提供いただいたお灸のサンプルも午前中でほぼ無くなり、約80名超の市民の方々に鍼灸施術を体験していただきました。今回も感じたことは、鍼灸はまだまだ「痛い・熱い」というイメージが先行しているのだと感じ、もっと気持ちの良い施術だと言うことを紹介していかなければいけないと感じました。

三多摩東支部長　増田 眞彦

北支部

北区「健康フェスティバル」

平成25年11月17日（日）北区主催の「健康フェスティバル」で北支部は鍼灸治療体験コーナーを開設し、一般の方々に鍼灸治療を体験していただきました。

この日は天気も良く体験希望者の方々が何人も待合席でお待ちになるほどでしたが、担当された先生の丁寧な治療と適切なアドバイスで会場に来られた方々は皆満足そうに帰られました。

参加会員：小野済支部長・佐々木チエ子監事・倉田克俊氏・挽野順子氏・遠山茂氏・金田清美氏・落合徹氏・高橋聖。そして、忙しい中を高田常雄会長と北区健康いきがい課職員の計12名で運営しました。

保険指導員　高橋 聖

三多摩ブロック

学術講習会

平成25年11月17日（日）13：00～16：00
国分寺労政会館　講師：鳥海春樹先生
「慶応大学病院における鍼灸治療について」

主な内容は　①神経内科の鍼灸外来治療
②鍼の効き目について

①については緊張型頭痛と片頭痛についてですが、薬物治療でなかなか効果がでない、薬が効かない症例が多く、薬剤以外の治療手段として、鍼灸治療を取り入れたということです。先生は鍼灸師でもいらっしゃるのです。ただし、大学病院内では治療に火を用いることはできないので、ここでは鍼治療のみということです。

薬物以外の治療方法について、『霊枢』九針十二原に、人々に病気があるが、薬物や砭石を用いないで治療する方法として、微鍼を用いる、ということが書かれており、これの現代版ともいえます。

緊張型はこりを伴うことが多く、片頭痛は血管性ですが、元は同じ病態があります。鍼の効果によって、病態研究が進むことが期待されるということです。また、難治性（薬が効かない）慢性緊張型頭痛と片頭痛は混在していることがあり、鍼灸による手探り的な治療によって少しずつ研究と実践を進めて

いけるということです。

　ここでは、疼痛に限っていますが、形式的なツボ治療ではないということで、マニュアルに捉われない地道な観察と経験に基づいた治療が求められているようです。こりを察知してちょっと変だ、極度に変だ、などということから徐々に根源に近づこうという立場なのです。果たして、こりと頭痛に関連性があるのか？という所から研究が進められています。脳の表面に起こる電気的な現象である、皮質拡延性抑制が関与している可能性についても研究がすすんでいるということです。

　②については、鍼灸治療において、二重盲検法は意味がない、効いていること自体がエビデンスである、という明解な解説です。しかしながら、体表面の刺激に対する研究は現代医学では未熟である、鍼灸治療の経験がもっと医学研究に利用されるべきだ、というお考えを語られました。約50名の受講者が集まりました。

三多摩北支部　名越 礼子

技能功労者表彰

平成25年10月13日（日）
小金井市制施行55周年記念式典において、支部長の邉田幸藏氏は「技能功労者」として表彰されました。

「鍼灸医学」を通して市民の「健康増進」と「予防医学」に貢献し、後進の育成にも努力されています。また、50周年記念式典においても「市民功労者」として表彰されています。社会福祉協議会を通して「東洋医学」の普及・啓発に努め、市民のためにボランティア活動なども行っております。ご報告申し上げます。

報告者　塩入 照久

トピックス

　平成25年11月23・24日の連休に「大島：治療ボランティア」に単身で行ってきました。
　調布飛行場から25分のフライトでした。

大島町役場

スタッフの方が看板を作ってくれました。

新宿支部　二階堂 貴子

アナウンス

平成26年２月９日（日）９：30～12：00

在宅鍼灸医療推進の会

会　　場：日本鍼灸会館２階講堂
会　　費：無料
参加資格：在宅（訪問）鍼灸に関心のある方は誰でも参加可能

内容
９：30～11：00
「ケアマネから見た鍼灸師」「在宅鍼灸からの事業展開」「エビデンスについて」

11：00～12：00
グループワーク「在宅鍼灸医療・在宅鍼灸医療の会」の今後について

現在そして将来のニーズに対応できる情報と知識を習得していきましょう。

自由研修会として単位が加算されますのでＧＫカードを持参お願いいたします。

参加申込書送信先
FAX　03-3985-7526

１・氏名　…
２・資格　…　鍼灸　　あ・マ・指
（○で囲む）
３・所属支部名　…　　支部
４・住所　…〒
５・TEL　…
６・FAX　…
７・eメール　…　　@

在宅鍼灸医療推進の会　松浦 正人

平成26年３月２日（日）13：30～16：00

三多摩北支部「学術講習会」

会　場：小金井市民交流センター　地下１階
JR中央線　武蔵小金井駅南口駅前正面

１.「坐骨神経痛の鍼灸治療について」
－実技指導があります－
勅使河原 新一先生：元東京衛生病院
２.「周易についてのくわしい解説」
名越 礼子先生　（中国医学　古典）
元東京医療専門学校教員養成科講師
お茶の水女子大学大学院修士課程修了
（中国史専攻）
「周易」　名越礼子訳　　外交出版社（中国）

連絡先：三多摩北支部長　邉田 幸藏
携　帯　080-2146-1889

平成26年３月９日（日）14：00～15：30

都民公開講座

講師：熊谷 修先生

講演テーマ
「介護リスクを高める新型栄養失調」
～元気シニアを襲う新たな栄養問題～

池袋サンシャイン文化会館　５階　501号室
無料：先着200名（事前申込制）

厚　生　部

慶　　事

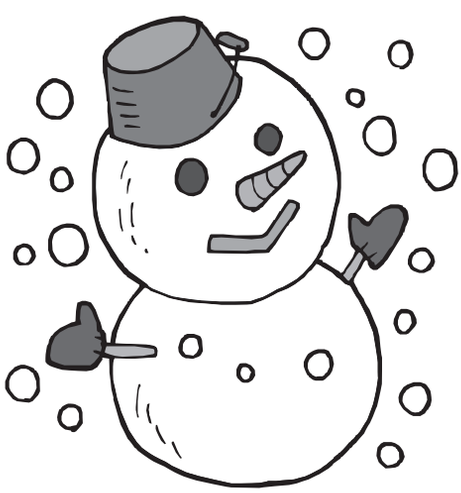
おめでとうございます。

足立支部　　川田 涼子氏
　　９月１日　次男誕生

弔　　事

謹んでお悔やみ申し上げます。

三多摩南支部　神部 敏雄氏
　　10月15日　本人死去　82歳
新宿支部　　井坂 卓司氏
　　11月11日　母堂死去　91歳



会　長　日　誌

10月２日　日鍼会　業務執行役員会
　　５日　スポーツ祭東京2013
　　ボランティア（ソフトテニス）
　　９日　日鍼会「第８回鍼灸マッサージを考える国会議員の会」
　　理事会
13・14日　第９回全国大会in岡山
　　17日　日鍼会　古川俊治参議院議員
　　20日　大田区鍼灸師会50周年式典
　　24日　第１回都議会議員との協議会
　　25日　日鍼会
　　「第５回在宅医療を推進する会」
　　26日　日鍼会　介護予防委員会打合せ
　　27日　日鍼会　合同委員会、理事会
　　30日　日鍼会　山口泰明参議院議員

11月５日　武見敬三参議院議員
　　６日　日鍼会　業務執行役員会
　　10日　在宅鍼灸医療を推進する会
　　東京都健康福祉局委託学術講習会
　　（中期）
　　13日　日鍼会　厚労省予算委員会
　　理事会
　　17日　健康フェスティバル（北支部）
　　三多摩「市民公開講座」
　　20日　逢沢一郎衆議院議員
　　24日　大阪府鍼灸師会設立
　　50周年記念式典
　　スポーツボランティア研修会
　　25日　神林茂　東京都議会議員
　　27日　日鍼会　業務執行役員会
　　28日　症例検討会
　　東京マラソン打合せ
　　（井坂支部長 ほか）
29・30日　第３回JIMTEF
　　災害医療研修コース

（公社）東京都鍼灸師会協力会員

株式会社　カナケン 〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘2－17－39 TEL：045－901－5471 URL：http://www.e-kenkou.jp E-mail：info@kanaken.co.jp	株式会社　明　健　社 〒181-0013 三鷹市下連雀7－6－36 TEL：0422－71－8801 URL：http://www.meikensha.com E-mail：1@meikensha.com
(有)前田豊吉商店 〒167-0052 杉並区南荻窪1－22－15 TEL：03－3332－7634 URL：http://www.needlemaeda.com E-mail：harimaeda@pop01.odn.ne.jp	丸菱産業 株式会社 東京支社 〒160-0023 新宿区市谷薬王寺町58番地402 TEL：03－3513－7756 URL：http://www.marubishi.com E-mail：tokyo@marubishi.com
協力会員募集中	

発行者　公益社団法人　東京都鍼灸師会　会長　髙田常雄（広報部）
〒170-0005　東京都豊島区南大塚3-44-14　日本鍼灸会館内
電　話　03－3985－7501　FAX　03－3985－7526
メールアドレス　info@harikyu-tokyo.or.jp